



平成28年8月12日

米原市長 平尾道雄様

米原市総合計画審議会

会長 岩崎恭典



第2次米原市総合計画基本構想(案)について(答申)

平成27年6月18日付け米政第51号で諮問のありました第2次米原市総合計画基本構想(案)について、別添のとおり答申します。

本審議会では、これまでのまちづくりにおける現状や課題の分析において、市民意識調査、小中学生アンケート、市民ワークショップ等による市民意見や社会潮流の検証を踏まえ、10年後の理想とするまちの姿を実現するためのキーワードとして「つなぐ」を導き出し、人、地域、時代をつなぐまちづくりの観点から、持続可能なまちの未来を築くこと念頭に議論を進めてきました。また、パブリックコメント制度において市民ワークショップを開催するなど、より幅広い市民意見を踏まえた計画策定に取り組みながら、慎重に審議を重ね、別添案をまとめたものです。

なお、本基本構想の推進に当たっては、下記の事項に十分配慮され、まちの将来像である「ともにつながり ともに創る 住みよさ実感 米原市」の実現に向け、取り組まれるよう要望します。

記

- 1 少子高齢化や人口減少に立ち向かうため、子育て支援や保健、医療、福祉の充実を図り、女性や若者が安心して活躍し、定着できる魅力あるまちづくりに取り組むこと。
- 2 「新たな支え合いの仕組み」を創造するため、市民、事業者、行政など各主体がそれぞれの役割を分担し、市民が互いに支え合い地域課題の解決に取り組んでいけるよう、総働・共創のまちづくりを推進すること。

- 3 各施策の推進に当たっては、まちづくりの基本理念、将来像等を念頭に置き、より実効性の高い施策展開を図るため、事務事業評価による改善や見直しを行うとともに、まちづくりを効率的かつ効果的に進めるため、庁内組織の横断的な連携と協力により推進すること。

- 4 創意工夫による市民サービスの提供や市民への適切な情報共有を図り、施策の選択と集中など、地域経営の観点に立った行政運営を推進すること。